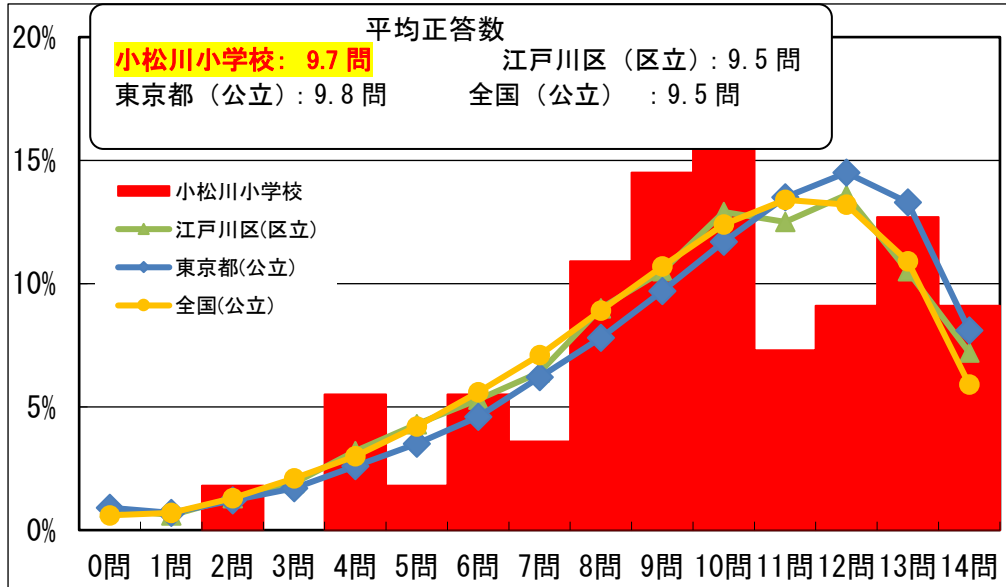


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】小松川小学校

正答数分布



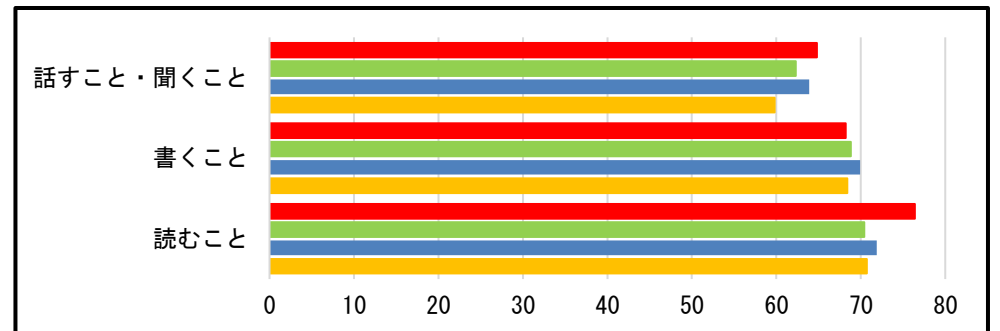
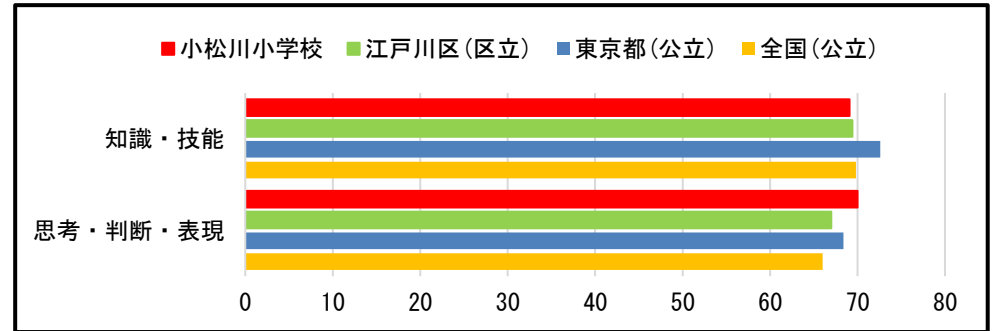
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
小松川小学校	30.9	25.4	25.4	18.2
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小松川小学校	70%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	0ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- 平均正答率が都平均と同値で、平均正答数も全国平均・区平均を上回っている。
- 「思考力・判断力・表現力」は、都平均を1.6ポイント上回っている。どの領域も都平均とほぼ同じだが、「読むこと」において4.5ポイント上回っている。

【授業改善に向けて】

- 日常的に読書に親しむことを継続させながら、授業の中で自分の考えを形成・表現したり、友達と考えを交流したりする言語活動を重視していく。